

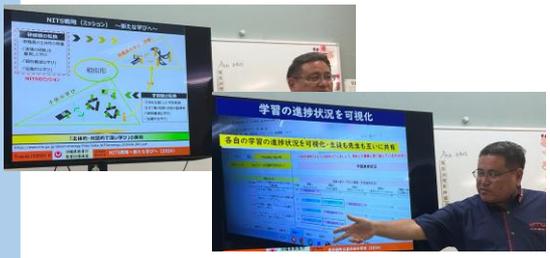
リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

【取組内容】新しい学びの挑戦

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

I 学習期 学校DX戦略アドバイザーによる職員の学び



単線型の授業



「一斉学習」
(いままの学習)

目指す社会
多種多様化するキャリア形成
予測困難な社会への対応
個で無く集団で生き抜く力

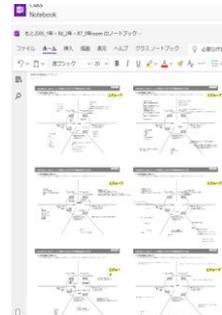
複線型の授業



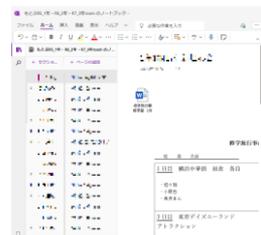
「個別最適な学び」
「協働的な学び」

研修後、新たな学び方が必要なことを学習。しかし、すぐに個の授業で活かすのは難しい。総探や行事などを利用して先生がお互いに協働しての学校内で教師が協力し合える授業で取り入れてみることを考える

II 展開期 総合学習による学年団による展開



総合探究の時間でお互いの意見をクラウド上で共有しあうことで、これまでの口頭での生徒発表では、限られた時間内で限られた意見しか共有できてなかったものが、全生徒の意見を共有することができた。



修学旅行の旅程表を他者参照することで個別最適化されたスケジュールを計画しやすくなった

III 拡充期 学年団で計画されていた学びの効果をそれぞれの教科で拡充させる



理科

授業の振り返りにおいて他者参照を活用し、授業のポイントをお互いに確認しあう



英語

ブレインストーミングでは、他者の意見をもとにブラッシュアップが可能に

I 学習期⇒II 展開期⇒III 拡充期 組織全体で、全体から個の授業に拡充させることで新しい学びに対する負担を軽減するような取り組みを行ってきた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

【取組内容】 外部人材によるオンライン授業 新しい情報モラル教育

②情報活用能力の育成 ③A 動画教材の活用、地域人材や外部専門家の参画を得たオンライン授業

これまでの情報モラル授業



今まで、他人事としてしか感じることでできなかった授業を、クラスメイトが出演している討論会を見て学ぶことで、自分事としてとらえられるように工夫する。

【一斉授業に近い】

自分事としてとらえることができず、情報モラルの意識向上を感じられなかった。

【カタリバ風番組仕立て】

クラスでリーダー的な存在になる生徒をピックアップして外部講師との対話形式で討論を交わす。

●成果



スマホサミットin沖縄2024に積極的に参加



②スマホについて

使用時間に関しては現行校則のままで問題ないただしスマホの保管について、お昼時間以外にスマホを保管しておく場所(箱など)を各HR教室に用意してほしい。

根拠:

現行校則ではスマホはロッカーにしまうことになっているが、移動教室も多いためそれでは生徒個人で自己管理するには限界がある。手元で管理するにしても、手元にあると使ってしまう可能性が高い。

校則改正員会にて生徒自らスマホ利用を考えるようになった。

他人事から自分事
自分事から自律
自律から発信へ

情報活用する上で、最も必要な情報と向き合う上での責任を学ぶことができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

【取組内容】 標準仕様とクラウドを活用した会議の効率化

④校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

I OneNoteを活用した会議資料のペーパーレス化

令和6年度 第2回職員会議
日時：令和6年4月16日(火) 15:50~
司会：[不明]

議題

- 情報伝達会議の廃止及び情報共有方法のやり方について 10分
- 中高一貫教育会関係者・第1回教科会について 5分
- 三者連携実施事項について 5分
- 部活動について
2024年度部活動
- 本年下半期部活動再開に係る動向
- 部活動再開後の部活動開催について
- 部活動再開後の部活動開催について
- 本年下半期部活動再開について
- 進路調査について
1. 進路調査
2. 進路調査

資料下付
第2回企画推進委員会：令和6年5月9日(木) 16:10~
第3回職員会議：令和6年5月13日(月) 15:50~ 司会：3年1組 副担任

- メリット**
- 資料共有の時間
 - 資料探しの手間や時間
 - 紙代
- それぞれの削減

II Teamsを活用した情報共有の効率化

職朝 & Teams	6: P
職朝 & Teams	7: S
職朝へ	8: 新

【再掲】【5月18日(土)にPTCA総会を開催します。保護者へ伝えて下さい。】

R6 もとぶ生徒全体room
保護者へPTCA総会（授業参観）が5月18日(土)に開催されることを改めてお伝えください。よろしく願います。

PTCA総会等_案内.pdf
R6:room > General

削減できた時間	
約	35

- メリット**
- 端的な情報共有の効率化
 - オンデマンド対応
 - 会議時間の削除

削除できた時間を明記することで負担感の軽減を意識する取組

●成果



生成AIをどの分野で活用したいか

授業	11
校務	12
生徒支援	3
進路活動	8
部活動	2
活用したいと思わない	0

職員研修の回数について

もっと多くても良かった	1
適切な回数であった	13
もっと少なくても良かった	1
1回で十分であった	0

空き時間なく、職員研修を確保するのが難しかったが、効率よく会議を行うことができたため、2時間30分以上の職員研修を職員の負担感なく4回行うことができた。